NIPPON Individual Savings Account

情報提供資料 2017年12月11日

「つみたてNISA」の積立開始が迫る! どの様な資産に投資する? 先行する英国LISAで人気は 「アロケーション型」、「グローバル株式型」、「国内株式型」、 「パッシブファンド!!!

商品企画部 松尾 健治 窪田 真美

※三菱UFJ国際投信がお届けする、日本版ISAに関する情報を発信するコラムです。

「つみたて NISA」の積立開始が迫る! どの様な資産に投資する?

来年 2018 年 1 月からの「つみたて NISA(少額投資非課税制度)」の積立開始が迫っている。「つみたて NISA」で長期の資産形成を目指す時、どの様な資産に投資したらよいか本格的に検討する時期である。 メディアでは様々なアイディアが出されていて、「長期の資産づくりではどんな資産に投資するのが適切なのか。 資産価格は一時期下がっても『いずれは回復する』と腰を据えて投資できるなら、期待できるリターンは大きい方がいい。 有力なのは国内外の株式だ。」(2017 年 12 月 2 日付日本経済新聞~URL は後述[参考ホームページ]①参照)と言う意見もあれば、「長期の積み立て投資で着実に結果を出す基本は、資産と地域を分散し定期的に配分の比率を整えること。 こうした運用を 1 つのファンドで行うのがバランス型投資信託だ。」(2017 年 11 月 30 日付日本経済新聞~URL は後述[参考ホームページ]②参照)と言う意見もある。

先行する英国 LISA で人気は「アロケーション型」、「グローバル株式型」、「国内株式型」、「パッシブファンド」!!

ちなみに、日本より9カ月早く、今年2017年4月6日から英国で始まった積立型ISA「ライフタイムISA/lifetime ISA」における投資家の保有ファンドを見ると、「アロケーション型」、「グローバル株式型」、「国内株式型」、「パッシブファンド」が多い様である(後述※1参照)。

実際、日本のつみたて NISA 対象ファンド(*2017 年 12 月 6 日時点で 128 本~後述※2 参照)の内、アセットアロケーションファンドやバランス型、マルチアセットクラス型などとも呼ばれる「内外資産複合型」が 4 割を占め最多 (52 本)、次いで、日本株ファンドや外国株ファンド等の含まれる「国内株型」と「海外株型」が各々26%(34 本)を占めている事、インデックスファンドが約 9 割である事は、英国の保有実態に近い品揃えである。

※1: 英国ライフタイム ISA の利用状況…英国ライフタイム ISA (lifetime ISA、以下 LISA)は、18歳~39歳を対象に初の 住宅購入・退職に向けて専用口座で積み立て貯蓄をした場合、毎年 4000 英ポンド/約 61 万円までの貯蓄に 25%の政府 補助金が上乗せされ、ISA による非課税を享受出来る。

2017 年 4 月 6 日に導入されたが、まだ LISA を提供する金融機関は少なく、株式型 LISA の場合、2017 年 11 月末時点でプラットフォーム 4 社(ハーグリーブス・ランズタウン/

Hargreaves Lansdown、ナツメグ/Nutmeg、シェアーセンタ

ライフタイムISA口座で保有される商品/AJ Bell Youinvest ETF, 7% 株式, 13% 現金, 46% 現金, 46% 以信, 35% 以信, 35% 以信, 35% 以后, 35

(出所: 2017年9月7日付 AJ Bell Youinvestより三麦UFJ国際投信株式会社商品企画部が作成)

ー/The Share Centre、AJ ベル/AJ Bell Youinvest)しかない。 その為、開示情報は限定的であるが、5月3日付英 YourMoney.com は、 <mark>導入後2週間に1万人超が口座開設したというハーグリーブス・ランズタウンにおける LISA 投資家の売れ筋は、「パッシブファンド、特に海外の株式指数に連動するパッシブファンドが人気。</mark>」と報じていた(URL は後述[参考ホームページ]③参照)。



購入件数の多かったファンド 10 本のうち、グローバル株式ファンドが最多で、次いで英国株式ファンドが 3 本あった。 また、9 月 7 日、AJ ベルは同社における LISA 口座の利用状況に関する調査結果を公表した(URL は後述 [参考ホームページ]④参照)。

以下はポイントで、投資の多かった個別商品上位 10 本も掲載されており、<u>アロケーションファンド</u>が半数を占め、次いでグローバル株式ファンドが多かった。

- ・LISA 口座保有者の 54%が投資を行う(46%は現金保有)。
- ・投資された金融商品 TOP10 のうちパッシブファンドが 6本。 株式は 1本。
- ・低コストの投信が志向されている。
- ·LISA 口座の平均投資額は 2520 英ポンド/約 36 万円。
- ・口座保有者の 66%が 30 代、45%が 36-39 歳、17%が 39 歳

(*LISA 口座の開設は 18 歳~39 歳、資金拠出・政府補助金を受けられるのは 50 歳の誕生日を迎えるまで~筆者の補足)。

AJ Be	ell YouinvestのライフタイムISA(lifetime ISA)で人気の金融商品		2017年9月7日時点
	AJ Bell Youinvest (同社LISA口座保有者による投資商品上位10)		
	名前	投信/株式	グローバル分類 (モーニングスター分類)
1	AJ Bell Passive Adventurous Fund	投信	アロケーション積極型 /Aggressive Allocation
2	Fundsmith Equity I Acc Fund	投信	グローバル株式大型/Global Equity Large Cap
3	Vanguard LifeStrategy 80% Equity Acc Fund	投信	アロケーション積極型 /Aggressive Allocation
4	AJ Bell Passive Moderately Adventurous Fund	投信	アロケーション積極型 /Aggressive Allocation
5	Vanguard LifeStrategy 100% Equity Acc Fund	投信	グローバル株式・大型 /Global Equity Large Cap
6	AJ Bell Passive Balanced Fund	投信	アロケーション標準型 /Moderate Allocation
7	Baillie Gifford Managed (Class B) Acc Fund	投信	アロケーション積極型 /Aggressive Allocation
8	Fidelity Index World W-Accumulation Fund	投信	グローバル株式・大型 /Global Equity Large Cap
9	Lloyds Banking Group PLC ORD 10P	株式	_
10	Scottish Mortgage Investment Trust PLC ORD 5P	投信(インベストメ ントトラスト)	_

(出所: AJ Bell Youinvest、モーニングスターより三菱UFJ国際投信株式会社商品企画部が作成)



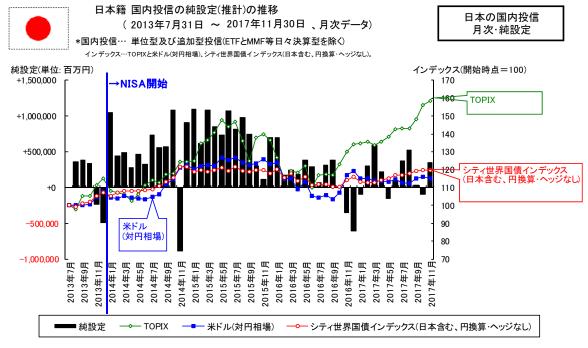
日本の NISA の対象商品は投資信託だけで 120 本以上あり何に投資すべきか悩む

日本のつみたて NISA の対象商品は投資信託だけで 120 本以上あり(12 月 6 日時点で 128 本、後述※2 参照) 何に投資すべきか悩む所、現行の(一般)NISA でどの様な投資が行われたのかを見る。 一般 NISA の投資家を既存投資家と投資未経験者(新規投資家)とに分け、既存投資家は投信全体の動向で代替、投資の未経験者(新規投資家)は NISA 向けファンド(後述※3 参照)で代替する。 投信を見るのは、NISA 買付額の 6 割が投信となっているからである(*NISA 開始の 2014 年 1 月から 2017 年 6 月までの買付総額は 11 兆 1880 億円で、うち、投信 60.4%、上場株式 37.1%、ETF1.6%、REIT1.0%~URL は後述[参考ホームページ]⑤参照)。

※2: つみたて NISA の対象商品…つみたて NISA で投資できる商品は、金融庁が承認した投資信託に限られる。 具体的には、販売手数料が無料(0%)、信託報酬が最大で 1.5%以下などの金融庁が示す要件を満たす投資信託。 2016 年 11 月末時点で、要件に該当する投資信託は約 50 本と、公募投信(約 5000 本)のわずか 1%だったが、 2017 年 7 月末には 120 本に増加(事前相談数)。 正式な届出の初日 2017 年 10 月 2 日時点で公募投信 103 本、最新 12 月 6 日時点では公募投信 128 本、ETF3 本である(うち指定インデックス投信 113 本、アクティブ運用 投信等 15 本)。 以上、金融庁が示す要件や個別ファンド名など詳細および更新情報は金融庁 HP 参照(URL は 後述[参考ホームページ]⑥参照)。 また、2017 年 4 月 24 日付日本版 ISA の道 その 179「積立 NISA の適格投信 は全体の 1%以下でインデックス・ファンドばかり。 これを米国に当てはめると、全体の 1.6%でアクティブ・ファンドが 半分超に!」、2017 年 9 月 11 日付日本版 ISA の道 その 195「『つみたて NISA 対象(仮確定)商品』は 114 本! 税 制改正要望で口座開設申込み即日買い付け可へ!! その中、現行 NISA で 8 月に投資された先は?」も参照の事 (URL は後述[参考ホームページ]⑦参照)。

2017年11月にNISA既存投資家はグローバル株やアセットアロケーションが人気

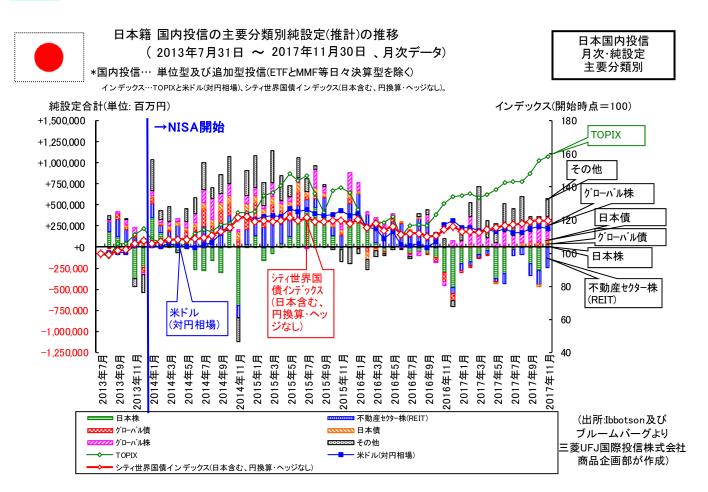
まず NISA の既存投資家を示す投信全体の純設定(推計)は 2017 年 11 月に+3473 億円と、前月 10 月の-906 億円から 2 カ月ぶりの資金純流入となった。 純流入額は 2017 年 8 月(+5202 億円)以来の大きさである。 この 2017 年 11 月の既存投資家の純設定を、投資対象(主要分類)別で見る。



(出所:ブルームバーグ、Ibbotsonより三菱UFJ国際投信株式会社商品企画部が作成)



投信全体が2カ月ぶりの純流入となる中、2017年11月に最も純設定の大きかったのはグローバル株、次いで、アセットアロケーション柔軟型、その他アロケーション型、エマージング債、グローバル債だった(下記グラフ参照*主要分類…モーニングスターによる分類で2016年12月末の純資産の大きい上位5分類。アロケーション型、エマージング債は「その他」に含まれる)。 また、2017年の年初来(1月~11月)でみると、最大の純設定はグローバル株、次いで、アセットアロケーション柔軟型、インド株、アジア株(除く日本)、エマージング債、その他アロケーション型だった。



11 月単月でも年初来でも<u>純設定が最も大きかったグローバル株は、6 月から 6 カ月連続 1 位</u>で、11 月に+2626 億円と、前月(+1650 億円)を上回り 12 カ月連続の純流入、2017 年は 11 月までで+1.8 兆円と昨年 2017 年 (+3042 億円)の約 6 倍の純流入となっている。 そしてグローバル株に次いで 11 月に純設定の大きかった<u>アセットアロケーション柔軟型、その他アロケーション型だが、2016 年は低調だったのが、2017 年に入り、純流入が増加、11 月は計+960 億円と 11 カ月連続の純流入で、2017 年は 11 月までで+7400 億円とアロケーション型全体(約+1 兆円)の約 7 割を占めている(次頁グラフはアロケーション型ファンドだけを見たもの。 *アセットアロケーション 柔軟型・その他アロケーション型・・・内外の株式、債券、短期金融資産など様々な資産クラスを投資対象とすることに加え、投資対象の市場動向を予測し、機動的に資産配分を変えることで、投資元本の成長とインカムの獲得を目指すタクティカル・アセットアロケーション/TAA 型等を含むもの)。 人気が出て残高も増えているバランス型ファンドについては、「1 つの資産に集中投資した場合、値上がりすれば大きな収益が得られる半面、値下がりするとその分損失も大きくなる可能性があるが、バランス型ファンドに投資することで、こうしたリスクを軽減できる。」 (2017 年 11 月 29 日付日本経済新聞~URL は後述「参考ホームページ」(8 参照)とも報じられていた。</u>



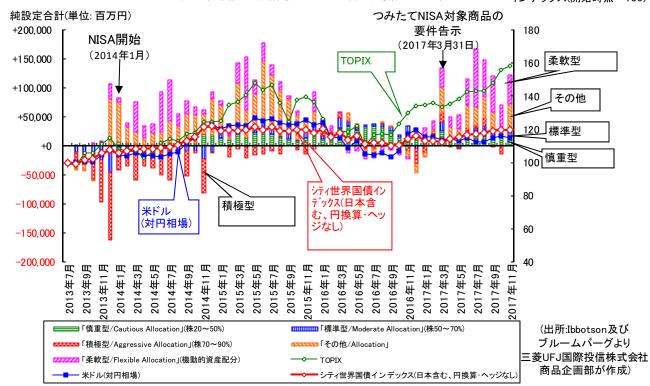


日本籍 アロケーション型投信の主要分類別純設定(推計)の推移 (2013年7月31日 ~ 2017年11月30日、月次データ)

日本国内投信 月次·純設定 主要分類別

*アロケーション型投信・・単位型及び追加型投信(ETFとMMF等日々決算型を除く) インデックス…TOPIXと米ドル(対円相場)、シティ世界国債インデックス(日本含む、円換算・ヘッジなし)。

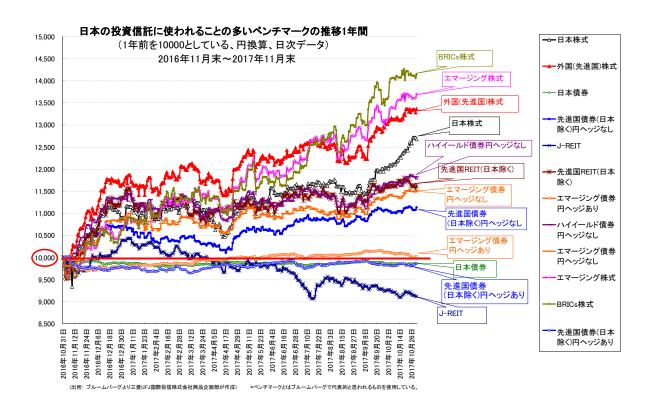
インデックス(開始時点=100)



一方、日本株は 2015 年に年間 2.2 兆円の資金純流入だったのが、2016 年 7 月以降、反転し、2016 年は年間 4260 億円の純流出となった。 2017 年は 11 月に+312 億円と、3 カ月ぶり純流入に転じたものの、年初来では 1.6 兆円の純流出となっている。 日経平均株価は 2017 年 11 月 7 日に 2 万 2937.60 円と 1992 年 1 月 7 日以 来約 25 年 10 カ月ぶりの高値をつけた。

日本の投信に使われることの多いベンチマークのパフォーマンス推移を見た所、次頁グラフの通り、1年のパフォーマンスの好い順に、BRICs 株式、エマージング株式、日本株式、先進国株式、先進国 REIT、エマージング債、ハイイールド債円ヘッジなしとなっている(*1年前を10000、円換算、日次データ)。

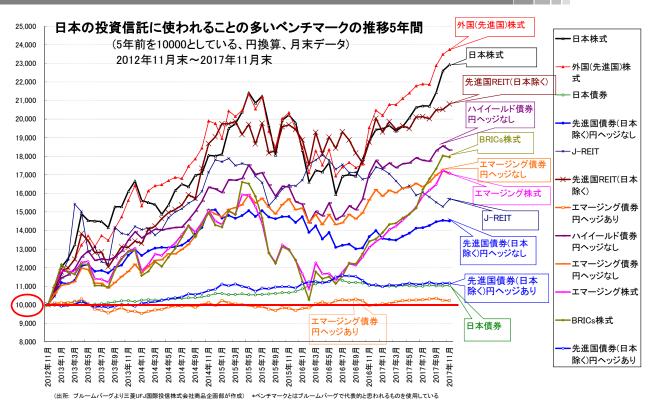




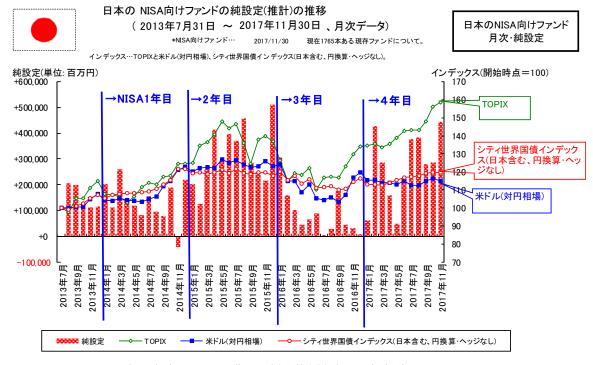
前月同様、1年のパフォーマンスの最も好い BRICs およびエマージング株式は、2017年5月末からの半年でも上記グラフのベンチマークで最も好いパフォーマンスだったが、5年では上から5番目および6番目となり、先進国株式を下回っていた。

次頁グラフは5年のパフォーマンスである。 パフォーマンスの好い順に、先進国株式、日本株式、先進国 REIT、ハイイールド債円ヘッジなし、BRICs 株式、エマージング株式となっている(*5年前を10000、円換算、月末データ)。 5年では次頁グラフのベンチマークで最も好い先進国株式のパフォーマンスは、3年では日本株式やBRICs 株式に次いで3番目、1年ではエマージング株式やBRICs 株式、日本株式に次いで4番目、2017年11月の1カ月や2017年5月末からの半年では4番目に好かった。 こうした安定的なパフォーマンスの好さがグローバル株への人気につながっている様に見える。2番目に好かった日本株は2017年8月末からの3カ月でも3年でも1位と好調である。





2017 年 11 月に NISA 新規投資家はグローバル株・債やアセットアロケーションが人気 次に新規投資家を示す NISA 向けファンドの純設定を見る。 既存投資家の動向を示す投信全体では 2 カ月ぶ りの純流入となったが、NISA 向けファンドの純設定は、最新 2017 年 11 月に+4416 億円と、2015 年 12 月 (+5108 億円)以来 1 年 11 カ月ぶりの大きさで、2014 年 1 月以降 2 年 11 カ月連続の純流入である。



(出所:プルームパーグ、Ibbotsonより三菱UFJ国際投信株式会社商品企画部が作成)

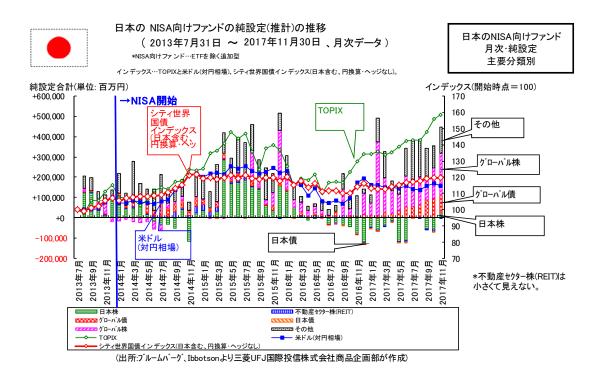


※3: 「NISA 向けファンド」…投資信託協会の言う「NISA 向けのファンド(*分配頻度が低いファンド、低コストのファンド、バランス型ファンド)」を参考にしながら(URL は後述[参考ホームページ]⑨)、2013 年 11 月末時点の契約型公募投信純資産が 1 兆円以上ある投信会社 17 社(*全 84 社の約 90%を占める)の株式投信(ETF を含む)で「NISA向け」、「NISA専用」、「NISAで選ぶ」、「NISAにおすすめ」などと紹介されているファンド、それに加え、2013 年 4 月以降に設定された分配頻度が低いファンドやバランス型ファンドとしている。 尚、2013 年 4 月以降と言うのは、NISAが含まれる税制改正(関連)法が 2013 年 3 月 30 日に成立・政省令公布されたため。 また、単位型・限定追加型・年 1~2 回分配以外のファンド・DC・SMA・ミリオン(従業員積立投資プラン)を含めていない。 ただ、同じシリーズが該当している場合は年 1~2 回以外を含めている。 しかし、通貨選択型については、年 1~2 回以外を除いている(*マネー・プールは年 1~2 回でも除いている)。 こうした「NISA向けファンド」を抽出した所、2017 年 11 月 30 日時点で 1805 本となった。

1年11カ月ぶりの大きな純流入となった NISA 向けファンドを投資対象(主要分類)別で見ると、2017年11月の 純設定1位はグローバル株、2位はグローバル債、3位はアセットアロケーション柔軟型と1~3位は前月10月と 同じ、4位は日本株(10月37位*最下位)、5位はエマージング株(10月4位)だった(下記グラフ参照。 アセットアロケーション型とエマージング株は「その他」に含まれる)。

2017 年 11 月は投信全体と同様、NISA 向けファンドでもグローバル株が純設定最大だった。 グローバル株は 2016 年 9 月から 15 カ月連続の純流入で 11 月の純設定が+2063 億円と、2 月以来の大きさだった。 2 番目に 純設定の大きかったのは、グローバル債で、2016 年末頃から純流入が増え始め、加速傾向にある。 グローバル 債の 2017 年 1~6 月の純設定は+1605 億円、7~11 月は+3813 億円と 2.4 倍(NISA 向けファンド全体が 1.5 倍、グローバル株が 0.8 倍、アセットアロケーション柔軟型 2.0 倍)。 3 番目に純設定の大きかったアセットアロケーション柔軟型は NISA 導入開始以降 4 年 11 カ月連続純流入で、2017 年は年後半に増加も安定的な資金純流入が続いている。

一方、日本株は、前月 NISA 向けファンドで最大の純流出となっていたが、2017 年 11 月の純設定が+242 億円と、4 カ月ぶりの純流入となった。





以上、来年2018年1月から投資の始まる「つみたてNISA」を検討する人の参考になれば幸いである。

以上

[参考ホームページ]

①2017年12月2日付日本経済新聞「長期向け投信賢く選ぶ 下げに強く、分配が健全」…

https://r.nikkei.com/article/DGKKZO24142160R01C17A2PPE000?type=my#AwAyAgAANTc3ODc1

②2017年11月30付日本経済新聞「バランス型、3年間の上昇率株の比率高いタイプ上位」・・・

https://r.nikkei.com/article/DGXMZO24072620Q7A131C1ENK000?type=my#AwAKgjUwNTc3ODc1

③2017年5月3日付英 YourMoney.com「Global tracker funds popular with Lifetime ISA investors in first month of launch」…「http://www.yourmoney.com/investing/global-tracker-funds-popular-lifetime-isa-investors-first-month-launch/」、

④2017年9月7日付AJ Bell Youinvest「Lifetime ISA investors wary of markets」…

https://www.ajbell.co.uk/news/lifetime-isa-investors-wary-markets

⑤2017 年 10 月 6 日付金融庁「NISA・ジュニア NISA 口座の開設・利用状況調査」(平成 29 年 6 月末時点)・・・

http://www.fsa.go.jp/policy/nisa/20171006-1/01.pdf

⑥金融庁「つみたて NISA 対象商品届出一覧」・・・「 http://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/about/tsumitate/target/index.html 」、「対象商品の要件についての告示」・・・「 http://www.fsa.go.jp/common/law/kokuji/20170331nai540.pdf 」、

⑦2017 年 4 月 24 日付日本版 ISA の道 その 179「積立 NISA の適格投信は全体の 1%以下でインデックス・ファンドばかり。 これを米国に当てはめると、全体の 1.6%でアクティブ・ファンドが半分超に!」・・・

https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_170424.pdf

2017 年 9 月 11 日付日本版 ISA の道 その 195「『つみたて NISA 対象(仮確定)商品』は 114 本! 税制改正要望で口座開設申込み即日買い付け可へ!! その中、現行 NISA で 8 月に投資された先は?」・・・

https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_170911.pdf

⑧2017年11月29日付日本経済新聞「バランス型に資金流入(投信ランキング)」…

https://r.nikkei.com/article/DGXMZO23930940X21C17A1000000?type=my&s=1#AwAKgjYwNTc3ODc1

92014 年 1 月 8 日付投資信託協会メールマガジン「NISA 向けのファンドって?」・・・「http://www.toushin.or.jp/mailmag/ 」。

三菱 UFJ 国際投信【投信調査コラム】日本版 ISA の道 バックナンバー…「https://www.am.mufg.jp/market/report/investigate.html 」。

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 〇当資料は日本版ISA(少額投資非課税制度、愛称「NISA/ニーサ」)に関する考え方や情報提供を目的として、三菱UFJ国際投信が作成したものです。 当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
- 〇当資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、 税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行 われない場合もあります。
- 〇当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- ○当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- ○当資料に示す意見等は、特に断りのない限り当資料作成日現在の筆者の見解です。
- ○投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 〇投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資 元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 〇投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 〇投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 〇クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご留意ください。
- ○投資信託は、ご購入時・保有時・ご換金時に手数料等の費用をご負担いただく場合があります。

本資料中で使用している指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。
- ・シティ世界国債インデックスとは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。